

平成20年1月18日

長野県知事
村井 仁 様

浅川ダム建設予定地の再調査を要望する会
杉山 昭生

要望書

私たち「浅川ダム建設予定地の再調査を要望する会」は、浅川沿いに暮らす子どもを持つ一般の県民（市民）数名の有志で構成された小さな会です。

特別な知識はありませんが、地域住民として、県が進めてきました浅川ダム建設計画について生活に密着する非常に身近なもの（課題）として捉えてきました。

その中で、全ての計画の前提となり、また、基本事項であるべき「安全性について」十分な保証がされないままダム建設計画が進む状況に危機感を感じていたところ、昨年7月に発生しました新潟県中越沖地震において明らかになった事実等、により災害に関する視点や不安が、地すべりから、断層そのものへと広がってきました。

そこで、安全性に関する事は確実に保証していただきたい思いで、地域や子供たちの将来に禍根を残すことのないよう、出来ることを精一杯頑張ろうとして行動しております。

私たち「浅川ダム建設予定地の再調査を要望する会」は、昨年7月22日に国より認可され建設に向けて計画が進められている浅川ダムにつきまして、下記のとおり「浅川ダム予定地の地盤（断層）と地質についての再調査」および、その「再調査結果に関する詳細情報の公開」を要望します。

記

要望事項

1. 浅川ダム建設予定地の地盤（断層）と地質の再調査について

前段に記載しておりますが十分な安全性が保証されていないという以下の理由により、浅川ダム建設予定地の地盤と地質について、再調査をお願いします。

- (1) 浅川ダム建設予定地に関し県が実施した地盤調査については、平成8年（1996年）を最後にストップしている。
- (2) 『新潟県中越沖地震』においては柏崎刈羽原発被災後に行なわれた最近の調査により新たな活断層が判明したが、過去、活断層について過小評価されていた点、他、1つの断層だけでなく断層群という観点での検証が必要とされている。

浅川ダム建設予定地については、長野盆地西縁部の断層帯との関連について再調査が必要であると専門家から指摘されている。

(3) ダムサイトの直下を南北に横断するFV断層は第4紀断層(活断層)であると専門家により確認されている。また、ダムを建設(工事)する場合はFV断層について調査が必要という方針を「長野県治水・利水ダム等検討委員会」が出していた。

(平成14年(2002年)6月「長野県治水・利水ダム等検討委員会」浅川部会資料より)

(4) 平成12年(2000年)1月に地質学の専門家より、ダムサイト右岸山地の「岩盤すべり」に関する詳細な地質調査の要望書が「浅川ダム地すべり等技術検討委員会」へ提出されているが、F-9断層と線状凹地との関連について、机上論議による検討での結論が出されただけで調査が実施されていない。

(5) ダム予定地の周りは地すべり地帯であり、過去に発生した善光寺地震の震源地にも近く地質や地盤に関する不安を持つ方が多くいる。(資料1『アンケートまとめ』参照)

これらの理由により、ダム建設予定地について最新の調査水準に沿った技術を使用し、調査方法や観点についても見直しをおこなったうえ、地域住民が注目する中での再調査を切望する次第です。

2. 再調査結果に関する詳細情報公開(情報提供・説明会)について

今まで、県は「流域住民の意見を聞く会」「浅川の治水対策、河川整備計画に関する説明会」「河川整備計画(原案)に係る公聴会」等を開催されてきましたが、そこでの意見や要望内容が示すとおり「安全性について」地域の皆さんが依然、不安を感じているという印象を受けました。

これは、大項目前項『1. 浅川ダム建設予定地の地盤(断層)と地質の再調査について』に記述した理由も潜在的にあると思いますが、情報が地域住民まで伝わっていない(共有できてない)事があります。

説明会を開催し、資料を配布している、ネット上の長野県ホームページでも公開しているのですが説明責任は果たしていると解釈されているのかも知れませんが、現実的に考えると説明会は限られた期日と時間の中でおこなわれ、ホームページについても全ての家庭がインフラを持っているわけではありません。

また、公開されている情報も文献から抜粋した内容のものもあり、簡単に解釈できるかについては疑問を感じています。

今回、私たちが地域の皆様に確認させていただいたアンケートによると、ダムや安全性について「よく分からない」、「分かりやすく説明してほしい」、「声を聞いてほしい」との意見が多く寄せられました。(資料1『アンケートまとめ』参照)

そこで、要望事項としては、今回、再調査を実施していただき、その結果について、新聞紙面および、周辺地域へは各家庭単位の資料配布と、近くて足を運び易い小地区単位での説明会の開催をお願いします。

それと、以前の河川整備計画に関する説明会場でも、私から要望意見を出していますが、専門家による詳細な調査結果の説明会開催を是非お願いいたします。

以上、2項目について要望させていただきました。

新潟県の地方新聞の紙面では今年最初の記事が「揺らく安全神話」という事で柏崎刈羽原発と断層に関する問題、課題、今後について1面をトップに5面に渡り特集されていました。

(資料2参照)

隣県の新潟で発生した災害です。記事内容をお借りしますが、「中越沖 教訓を生かせ」「命第一の発想へ転換を」というタイトル(言葉)がありました。

子供たちが地附山への遠足でもらった『地附山地すべり』の記録に関するパンフレットの表紙にも「あの災害を忘れないために」という言葉が記載されていました。

(資料3、3-1、3-2参照)

私たちはこれらの言葉は非常に重要であり重く受けとめるべきものだと思います。

是非、今回の浅川ダム建設予定地の「地盤(断層)と地質についての再調査」および、その「調査結果に関する詳細情報の公開」に関する要望を真摯に受け止めていただきたいと思いません。

そして、現在検討されております、平成20年度 県土木部の主要事業の4項「治水ダム建設事業」(2億5000万円)の事業内容に盛込んでもらい、早期に再調査を実施して結果の報告会を開催していただくことを熱望します。

先日15日(火)にメールにて、土木部河川課宛に本要望内容を会の名前で提出しています。

最後となりましたが、今回の要望書の提出に関しまして、アンケートにより浅川周辺地域の皆様の声をお聞きしています。

結果は要望事項に限らず、様々な意見をいただいております。

これらの意見を、別紙に一覧資料としてまとめました。(資料1『アンケートまとめ』参照)

公務等で大変お忙しいこととは存じますが、こちらも是非、知事ご本人そして、関係の皆様でご確認いただきまして「県民(市民)の声」として受け止めていただき、合わせてご回答いただければ幸いです。

以上